AXIS M3086-V Dome Camera
ディープラーニング搭載の固定型4MPミニドーム

このコスト効率の高いミニドームは、130°の広角ビューとワイドダイナミックレンジ (WDR) を特徴とし、シーン内に暗いエリアと明るいエリアの両方がある場合でも鮮明さを実現します。Lightfinderを搭載しているため、低光量でも鮮明なカラー画像を提供します。深層学習処理ユニットにより、エッジ上の深層学習に基づくインテリジェントな分析機能が実現します。また、AXIS Object Analyticsが人、車両、車種の検知と分類を可能にします。また、内蔵マイクロフォンを搭載しているAXIS M3086-V Micのバリエーションモデルは、AXIS Audio Analyticsすぐに対応する準備が整っています。

- 4メガピクセルの卓越した画質
- LightfinderおよびWDR
- ディープラーニングによる分析
- 内蔵マイクロフォンを備えたバリエーションモデル
- Axis Edge Vaultで装置を保護

JAPAN CYBERSECURITY LABEL
ジャパン・サイバーセキュリティ・ラベル
JC-STAR
Registered ID: 2025050200000244
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

AXIS M3086-V Dome Camera

カメラ

バリエーション
AXIS M3086-V
AXIS M3086-V Mic

イメージセンサー
1/2.7"プログレッシブスキャンRGB CMOS

レンズ
2.4 mm、F2.1
水平視野: 130°
垂直画角:93°
固定アイリス、IR補正

デイナイト
自動IRカットフィルター

最低照度
Lighfinder有効時:
カラー: 0.19ルクス (50 IRE F2.1)
白黒 : 0.03ルクス (50 IRE F2.1)

シャッター速度
1/38500秒～1/5秒

カメラ調整
パン±175°、チルト±80°、回転±175°
任意の方向へ向けて、壁/天井を見ることができます

システムオンチップ (SoC)

モデル
CV25

メモリー
1024 MB RAM、512 MBフラッシュ

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) メインプロファイル、ハイプロファイル
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
Motion JPEG

解像度
16:9: 2688x1512 (4メガピクセル)～640x360
4:3: 2304x1728 (4メガピクセル)～320x240

フレームレート
H.264とH.265で25/30フレーム/秒 (電源周波数 50/60 Hz)[1]

ビデオストリーミング
H.264、H.265、およびMotion JPEGにおいて、複数で且つ個別に設定可能なストリーム
Axis Zipstream technology (H.264/H.265)
フレームレートおよび帯域幅の制御
VBR/ABR/MBR H.264/H.265

WDR
WDRオン:最大120 dB (撮影シーンによる)

マルチビューストリーミング
最大2つのビューエリアをフルフレームレートで個別に設定可能

画像設定
彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、デイナイトモード閾値、露出モード、露出エリア、圧縮、回転:0°、90°、180°、270° (コリドールフォーマット、ミラーリング、ダイナミックテキスト/画像オーバーレイ、プライバシーマスクを含む)

画像処理
Axis Zipstreamテクノロジー、WDR、Lightfinder

パン/チルト/ズーム
デジタル PTZ

音声

機能
自動ゲインコントロール
音声入力用10バンドグラフィックイコライザー
音声プライバシーコントロール[2]
ポートキャスト技術による音声エンハンサー
スピーカーのペアリング

ストリーミング
双方向 (全二重)
音声ストリーミングがオフの場合でも音声分析可能[2]

入力
ポートキャスト技術による入力
内蔵マイクロフォン (デフォルトで無効):MEMSマイクロフォン[2]

1. *Motion JPEG*でフレームレートを低減
2. マイクロフォンが内蔵されたバリエーションモデルでのみ有効

出力
スピーカーペアリングまたはポートキャスト技術による出力

エンコーディング
AAC-LC 8/16/32/44.1/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Opus 8/16/48 kHz、LPCM 48 kHz
設定可能なビットレート

マイク

S/N比
71 dB(A) (94 dB SPL @ 1 m A重み付け -10 dB)[3]

最大SPL
130 dB (10% THD)[3]

周波数帯域
20 Hz～20 kHz[3]

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS[4]、HTTP/2、TLS[4]、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP®、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、PTP、NTS、RTSP、RTCP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、DHCPv4/v6、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、ローカルリンクアドレス(設定不要)、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®、メタデータ、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については*axis.com/developer-community*を参照)
One-Click Cloud Connection (ワンクリッククラウド接続)。
ONVIF® Profile G、ONVIF® Profile M、ONVIF® Profile S、ONVIF® Profile T（仕様については*onvif.org*を参照）

ビデオ管理システム
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、および*axis.com/vms*で入手可能なAxisパートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール
プライバシーマスク
メディアクリップ

エッジツーエッジ
スピーカーのペアリング

イベント条件
アプリケーション
音声:音声検知
装置ステータス:動作温度範囲超過/動作温度範囲内、IPアドレスのブロック、IPアドレスの削除、新規IPアドレス、ネットワーク接続断絶、システムの準備完了、ライブストリーム有効、
エッジストレージ:録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知
I/O:手動トリガー、仮想入力、ポートキャストテクノロジーを使用したアクセサリーによるデジタル入力
MQTT:サブスクライブ
スケジュール、繰り返し:スケジュール
ビデオ:平均ビットレート低下、いたずら

イベントアクション
デイナイトモード
LED:ステータスLEDが点滅、ルールが有効な間にステータスLEDが点滅
MQTT:パブリッシュ
通知:HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
オーバーレイテキスト:
録画
SNMPトラップ
画像またはビデオクリップのアップロード:FTP/SFTP/HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール
WDRモード
ポートキャストテクノロジーを使用したアクセサリーによる外部出力の有効化

設置支援機能内蔵
ピクセルカウンター、レベルグリッド

分析機能

アプリケーション
含まれるもの
AXIS Object Analytics、AXIS Scene Metadata、AXIS Audio Analytics[3]、AXIS Live Privacy Shield[5]、AXIS Video Motion Detection、いたずら警告、音声検知
サポート
AXIS People Counter
サードパーティ製アプリケーションのインストールを可能にするAXIS Camera Application Platformのサポート、*axis.com/acap*を参照

3. マイクロフォンが内蔵されたバリエーションモデルでのみ有効
4. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
5. ダウンロードできます。

AXIS Object Analytics
物体クラス: 人、車両 (タイプ:車、バス、トラック、バイク)
シナリオ:ライン横断、エリア内の物体、エリア内の滞在時間、クロスラインカウント、エリア内の占有状態、エリア内の動き、ラインクロスの動き
最大シナリオ数は10本まで
その他の機能:トリガーされた物体の色分けされた境界ボックス、多角形の対象/除外エリア、パースペクティブ設定、ONVIFモーションアラームイベント

AXIS Audio Analytics
マイクロフォンが内蔵されたバリエーションモデルでのみ有効
機能: 適応音声検知、音声分類
音声クラス: 咳発作、ガラスの割れる音、人の存在、悲鳴、怒鳴り声、会話
イベントメタデータ： 音声検知、分類

AXIS Scene Metadata
物体クラス: 人、顔、車両 (タイプ:車、バス、トラック、自転車)、ナンバープレート
物体属性:車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション
音声データ： 音声レベル

認証

製品のマーキング
CE、FCC、ICES、RCM、VCCI、BIS

サプライチェーン
TAA準拠

EMC
EN 55032 Class A、EN 55035、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ : ICES-3(A)/NMB-3(A)
日本: VCCI Class A
韓国: KS C 9835、KS C 9832 Class A
米国 : FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性
IEC/EN/UL 62368-1、IS 13252

環境
IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP42、IEC/EN 62262 IK08

ネットワーク
NIST SP500-267

サイバーセキュリティ
ETSI EN 303 645、BSI ITセキュリティラベル

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ
ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃に対する遅延保護、ダイジェスト認証、パスワード保護
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ
IEEE 802.1X (EAP-TLS)[6]、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS[6]、TLS v1.2/v1.3[6]、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、IPアドレスフィルタリング

文書化
AXIS OSハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axis Security Development Model
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、*axis.com/support/cybersecurity/resources*にアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、*axis.com/cybersecurity*にアクセスしてください。

概要

ケーシング
IP42防水防塵 (IP42に準拠するにはインストールガイドに従ってください)、IK08耐衝撃、ポリカーボネート/ABSケーシング
カプセル化された電子部品
カラー:白NCS S 1002-B
再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、*axis.com/warranty-implication-when-repainting*にアクセスしてください。

電源
Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at Type 1 Class 2
通常3.6 W、最大4.2 W

コネクター
ネットワーク:シールド付きRJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE
音声:ポートキャスト技術による音声およびI/O接続

ストレージ
microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応
SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)
NAS (Network Attached Storage) への録画
推奨されるSDカードとNASについては、*axis.com*を参照

6. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

動作温度
温度：0 ° C～45 ° C (32 ° F～113 ° F)
湿度:10～85% RH (結露不可)

保管条件
温度：-40 ° C～65 ° C (-40 ° F～149 ° F)
湿度:5～95% RH (結露不可)

寸法
製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量
150 g

パッケージ内容
カメラ、インストールガイド

オプションアクセサリー
AXIS TM3812 Tamper Cover
AXIS T61 Audio and I/O Interfaceシリーズ
黒色ケーシング
スモークドーム
AXIS Surveillance microSDXC™ Card
その他のアクセサリーについては、*axis.com/products/axis-m3086-v#accessories*にアクセスしてください。

システムツール
AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレクター、アクセサリーセレクター、レンズカリキュレーター
*axis.com*で入手可能

言語
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証
5年保証、*axis.com/warranty*を参照

製品番号
*axis.com/products/axis-m3086-v#part-numbers*で入手可能

サステナビリティ

物質管理
PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、*echa.europa.eu*を参照

材料
再生可能な炭素系プラスチックの含有率:57% (再生プラスチック)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、*axis.com/about-axis/sustainability*にアクセスしてください。

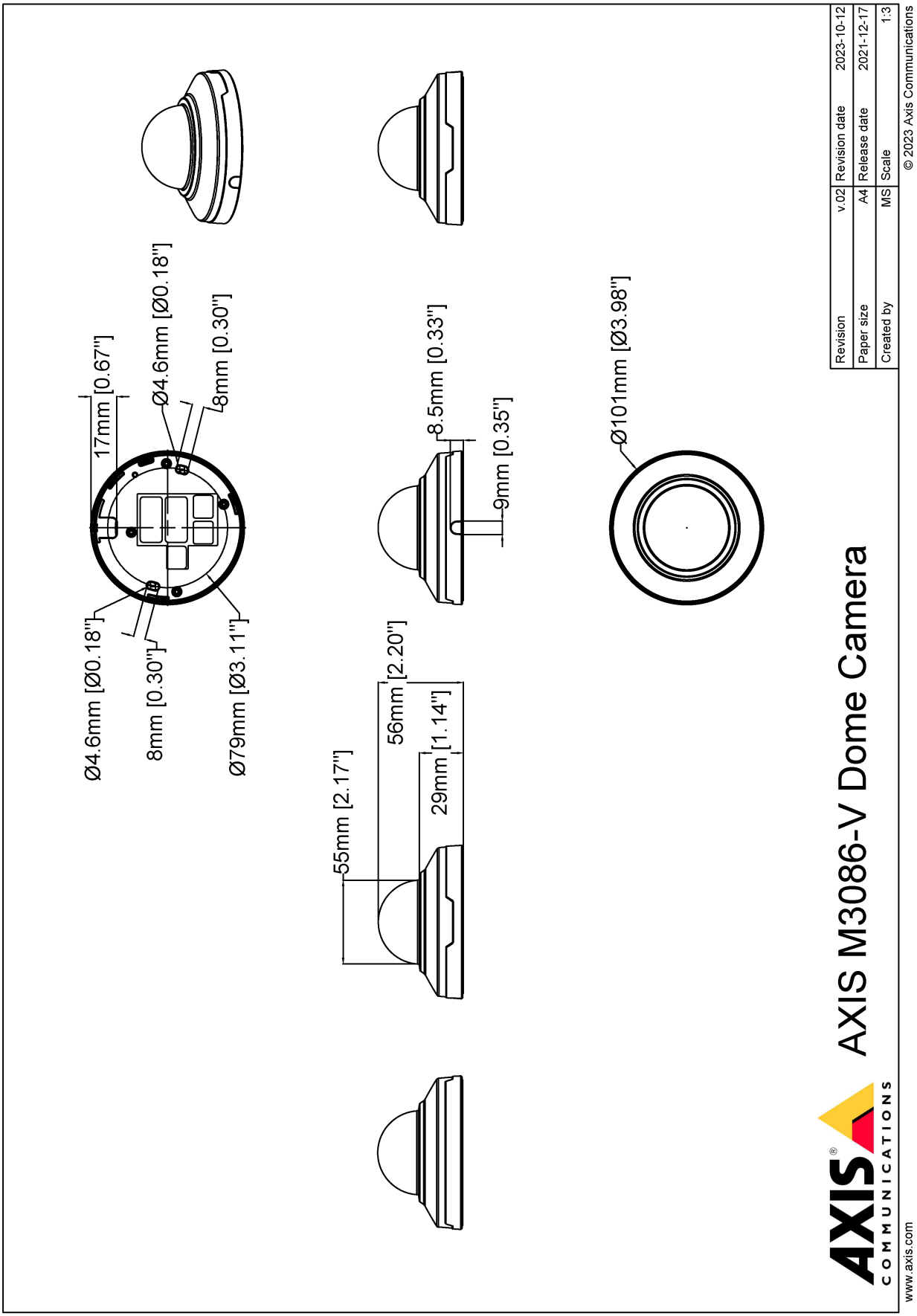
環境責任
axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については*unglobalcompact.org*を参照)

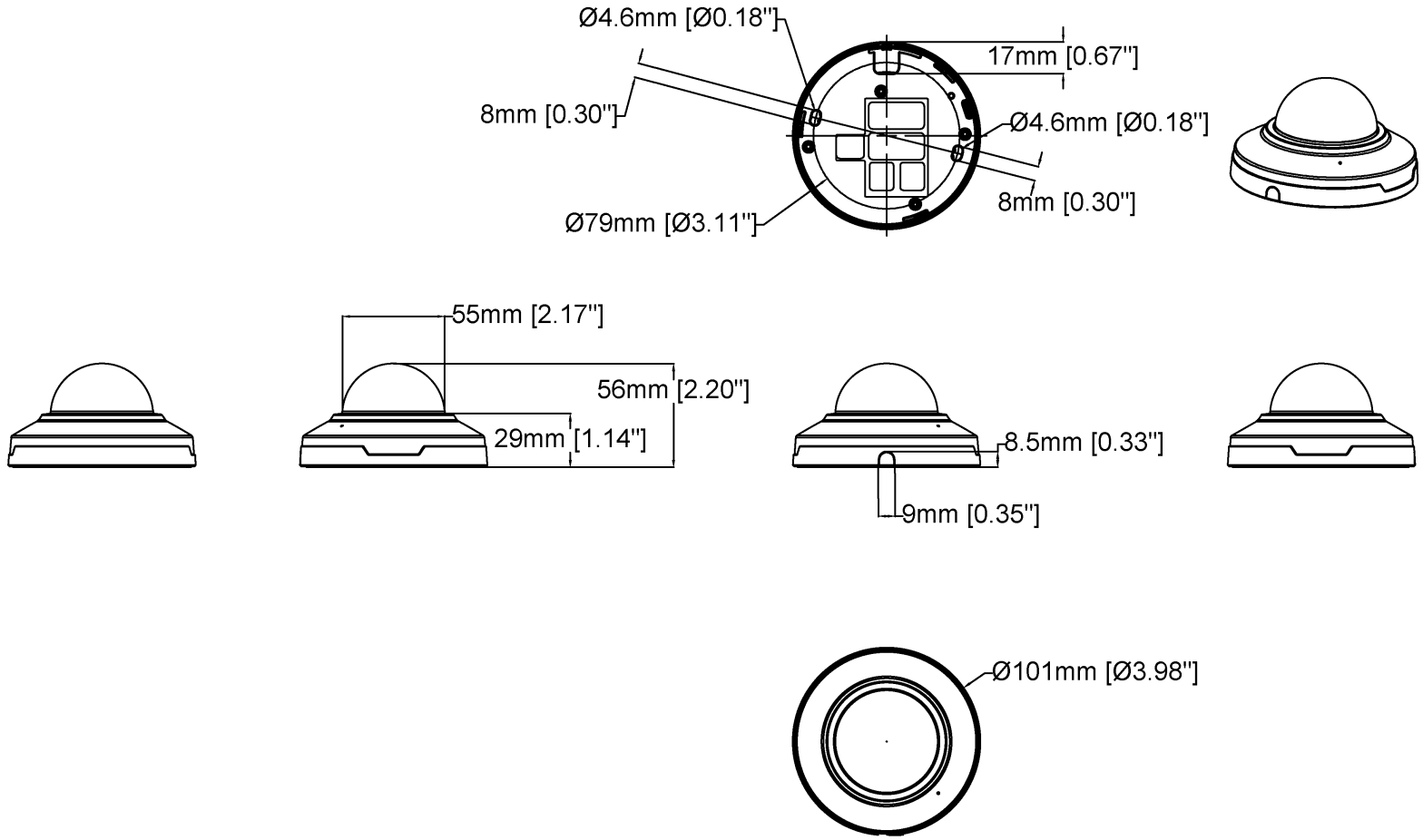
検知、監視、認識、識別 (DORI)

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	48.4 m
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	19.2 m
認識	125 px/m (38 px/ft)	9.7 m
識別	250 px/m (76 px/ft)	4.8 m

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。

寸法図面


17mm [0.67"]
Ø4.6mm [Ø0.18"]
8mm [0.30"]
Ø4.6mm [Ø0.18"]
8mm [0.30"]
Ø79mm [Ø3.11"]
8.5mm [0.33"]
9mm [0.35"]
Ø101mm [Ø3.98"]
55mm [2.17"]
56mm [2.20"]
29mm [1.14"]
AXIS M3086-V Dome Camera
Revision v.02 Revision date 2023-10-12
Paper size A4 Release date 2021-12-17
Created by MS Scale 1:3
© 2023 Axis Communications
www.axis.com



AXIS M3086-V Mic Dome Camera

Revision	v.01	Revision date	2023-10-12
Paper size	A4	Release date	2023-10-12
Created by	MS	Scale	1:3

www.axis.com

© 2023 Axis Communications

注目の機能

AXIS Object Analytics

AXIS Object Analyticsはプリインストールされたマルチフィードビデオ分析機能です。人、車両、車両タイプの検知と分類を実行します。AIベースのアルゴリズムと行動条件のおかげで、シーンとその中の空間的な動きを分析できます。お客様固有のニーズに合わせて設定をカスタマイズ可能です。拡張性が高くエッジベースであるため、最小限の設定により、同時に実行されるさまざまなシナリオに対応できます。

AXIS Audio Analytics

AXIS Audio Analyticsは、適応音声検知機能を使用して、音量が急に大きくなった場合にアラームを発生させます。AIベースの分類機能により、悲鳴や叫び声を検知できます。また、AXIS Audio Analyticsとビデオ分析機能を組み合わせることで、さらに確認することもできます。このスマートなアプリケーションはメタデータのみを送信するため、プライバシーが確実に保護されます。AXIS OSのコア機能であるAXIS Audio Analyticsは、追加費用なしでプリインストールされています。

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、*axis.com/solutions/edge-vault*にアクセスしてください。

Lightfinder

Axis Lightfinderテクノロジーは、暗闇に近い環境でも動きによる画像のブレを最小限に抑えた高解像度フルカラービデオを提供します。Lightfinderはノイズを取り除くことでシーン内の暗い部分を見やすくし、非常に低光量な環境でも細部まで捉えます。Lightfinderを搭載したカメラは、低光量では人間の視力を上回る色の識別力を発揮します。監視では、人、物体、車両を識別するために色が重要な要素となることがあります。

Zipstream

Axis Zipstream technologyは、ビデオストリーム内の重要な情報をすべて維持しながら、帯域幅とストレージの要件を平均50%削減します。また、Zipstreamには3つのインテリジェントアルゴリズムが搭載されており、これにより、関連するフォレンジック情報が最大解像度および最大フレームレートで識別、録画、送信されます。

詳細については、*axis.com/glossary*を参照してください。

© 2022年 – 2026 Axis Communications AB. AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ARTPEC、VAPIXは、スウェーデンおよびその他の国で登録されたAxis ABの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。記載内容は予告なく変更されることがあります。